ViEW2025 ビジョン技術の実利用ワークショップの論文書式

○令和 太郎†， ウィリアム・テイラー‡ （講演者に○を付けてください）
†: 画像科学技術大学工学部○○学科 （連名者全員の所属をできるだけ詳細にお書きください）

‡: ビジョン技術実利用株式会社 生産技術研究所

taro@image.eng.u-pc.ac.jp　（代表者のE-mailアドレスをお書きください）

概要： この文書は標記ワークショップにおいて発表されるカメラレディ（フルレングス版）原稿書式です．このファイルを直接編集してお使いください．この部分には200字程度の論文概要を書いてください．

＜キーワード＞ ○○○○，○○○○，○○○○ （キーワードを3語程度お書きください）

図1 ビジョンシステムの構成

図の見本

# 様式

## ページレイアウト

余白は上下22mm，左右19mm．活字サイズは本文10.5ポイント，見出し12ポイント，文献9ポイントとしてください．行間は15ポイントですが適宜変更して結構です．2ページ以降は1行目から2段組にしてください．

表1 実験の仕様

|  |  |
| --- | --- |
| カメラ | AA製モノクロCCD |
| 照明 | ハロゲンランプ |
| 対象物 | 情景写真 |

## ページ数

原稿は2～8ページにて作成ください．また，ページ番号は入れないでください．

# 使用言語

日本語を原則とします．英語の原稿及び発表をお考えの場合には，OpenConf[1]の「お問い合わせ」より事務局へご相談ください．

# 図表

## 図表の貼り付け

図表見本を図1及び表1に示します．それぞれ，見本のように直接原稿内に貼り付けてください．写真を用いる場合は鮮明なものをお使いください．

## 図表の色

フルレングス版原稿は電子データで配布されます．図表のカラーについての制限はございません．

# 論文評価結果

論文評価者のコメントは，より良い内容で執筆・発表していただくために有用です．是非ご活用ください．

# 最終提出物

ViEW2025ではフルレングス原稿を収録した電子版講演論文集を発行します．採択通知を受け取りましたら，以下のものをご準備頂き，再びOpenConfの「ファイルのアップロード」より提出してください．

論文評価者からのコメントを参考にしつつ，研究の詳細内容を2～8ページで記載してください．5MB以下のPDFとし，ファイル名は「サブミッションID.pdf」としてください．このフルレングス原稿の提出期間は，**2025年10月31日（金）まで**となります．

なお，電子版講演論文集の発刊は**2025年11月27日（木）**となり，**公知日は同日2025年11月27日（木）となります**ことにご留意ください．

# 参加登録

発表者の方には参加申込をしていただきます．ViEW2025のウェブページ[2]にアクセスして参加登録をお願いいたします．なお，採録論文に対して最低1名以上の参加登録が必要となります．

# 脚注

脚注[[1]](#footnote-1)は適宜お使いください．

# 著者紹介

原稿の最後に著者紹介を入れてください．著者紹介は論文内容に対する責任の明示，内容に関する理解，その後の連絡などにとって有益です．

# 参考文献

適切な参考文献は読者によって非常に有益なものです．論文内容の客観性，分野における位置づけなどを示します．参考文献[3, 4]はこの例のようにカッコで示します．

必要であれば謝辞を記入してください。

謝辞 本研究は様々な財政的な援助を受けており記して感謝する．

必要であれば補足を記入してください。

補足1 補足には本文に入れると論旨の展開が損なわれる記述，或いは退屈な証明などを入れます．

参考文献

[1] OpenConf: URL: https://www.tc-iaip.org/ViEW/2025/openconf/

[2] https://www.tc-iaip.org/view/2025/

[3] 課題好一郎：広大なインターネット空間を対象とするFA手法の提案，日本FA学会論文誌, Vol.3, No.4, pp.124-129, 1999.

[4] 令和太郎：外観検査課題の検討，ビジョン学会論文誌, Vol.6, No.4, pp.98-105, 1996.

令和太郎：各著者の簡単な略歴･研究歴，現在の研究興味などを書いてください．ホームページのURLなども有益な情報です．

ウィリアム･テイラー：Soho Inc. CEO．多くの外観検査の自動化システムの設計･試作を行う．代表システムは，IESS，YTI，KEEなど．最近は自律ロボットビジョンモジュールの開発を進めている．

著者情報を記入してください。

1. ここにこのように脚注の本文が入ります． [↑](#footnote-ref-1)